川西市文書管理システム再構築に係る公募型プロポーザル審査結果について

川西市文書管理システム再構築に係る事業者の選定について、川西市文書管理システム再構築に係るプロポーザル評価委員会による審査結果及び審査講評を受け、下記のとおり公表します。

令和４年２月10日

川西市長　越田　謙治郎

記

１．優先交渉事業者
富士電機ITソリューション株式会社

２．参加事業者（50音順）

事業者名・共同事業体名	構成員名
川西市文書管理システム再構築調達業務・ＮＥＣＡＰ／ＮＥＸＳコンソーシアム	ＮＥＣネクサソリューションズ株式会社 ＮＥＣキャピタルソリューション株式会社
富士電機ITソリューション株式会社神戸支店	
扶桑電通株式会社　関西支店	

川西市文書管理システム再構築に係る公募型プロポーザル

審　査　講　評

令和４年２月４日

川西市文書管理システム再構築に係るプロポーザル評価委員会

川西市文書管理システム再構築に係るプロポーザル評価委員会（以下、「評価委員会」という。）は、川西市文書管理システム再構築業務に関して、採点基準に基づき、提案内容等の審査を行いましたので、審査結果及び審査講評を次のとおり報告します。

令和４年２月４日

川西市文書管理システム再構築に係るプロポーザル評価委員会
委員長　岡本　敬子

目　次

１．事業者の募集と評価委員会の会議の経緯 1

（１）業務概要 1

（２）募集のスケジュール 1

（３）評価委員会の構成 2

（４）評価委員会の会議開催と経緯 2

２．提案内容に関する審査 3

（１）プロポーザル参加事業者 3

（２）提案額の確認 3

（３）機能要件（必須項目）の確認 3

（４）総合点の算定による優先交渉事業者の選定 3

（５）評価委員会による審査の流れ 4

３．審査結果の概要（講評） 7

（１）総評 7

（２）選評 7

（３）今後の事業実施に当たって 9

１．事業者の募集と評価委員会の会議の経緯

（１）業務概要

① 業務の目的

本市では、行政文書の作成や保管、決裁機能を有する文書管理システム（パッケージシステム）を導入し、平成 17 年 3 月に全庁稼働を開始している。文書管理システムを 15 年以上利用する中で、事務処理の効率化・電子決裁の推進が図られたが、現行システムでは機能不足や使いづらさが顕在化してきている。

こうした現状を踏まえ、更なる事務処理の効率化・簡素化及び電子決裁の推進並びに庁内情報の円滑な共有化等に向け、文書管理システムの再構築を行うこととした。

② 契約期間

契約締結日から令和 9 年 10 月 31 日まで

（２）募集のスケジュール

事業者の募集及び選定にあたってのスケジュールは、概ね次のとおりである。

日　　程	内　　容
令和 3 年 12 月 20 日	公募開始、実施要領等の公表
令和 3 年 12 月 27 日	参加申込書受付期限
令和 3 年 12 月 27 日	質問受付期限
令和 4 年 1 月 7 日	質問の回答
令和 4 年 1 月 20 日	企画提案書受付期限
令和 4 年 1 月 28 日、31 日	プレゼンテーション・デモンストレーションの実施
令和 4 年 2 月中旬	優先交渉事業者決定・公表
令和 4 年 2 月中旬	契約締結

（３）評価委員会の構成

事業者の選定にあたり川西市文書管理システム再構築に係るプロポーザル評価委員会設置要綱に基づき、評価委員会を設置した。

評価委員会の構成

役職	氏名	所属等
委員長	岡本　敬子	総務部　副部長
副委員長	木村　良弘	総務部　副部長（情報政策担当）
委員	今井　洋之	総務部　総務課　主幹
委員	松永　晃	市民環境部　産業振興課　主任
委員	薄波　智香子	健康増進部　国民健康保険課長
委員	森留　悠司	土木部　交通政策課　主任
委員	中瀬　大地	上下水道局　給排水設備課　主任

（４）評価委員会の会議開催と経緯

評価委員会	開　催　日	内　　容
第１回	令和４年１月 26 日	企画提案書評価会議（企画提案書についての意見交換及び採点）
第２回	令和４年１月 31 日	優先交渉事業者選定会議（プレゼンテーション・デモンストレーションについての意見交換及び採点、優先交渉事業者の選定）

２．提案内容に関する審査

（１）プロポーザル参加事業者

参加申込書及び企画提案書の提出のあった事業者（以下、「参加事業者」という。）は、次の３者であった。（掲載は 50 音順）

事業者名・共同事業体名	構成員名
川西市文書管理システム再構築調達業務・ＮＥＣＡＰ／ＮＥＸＳコンソーシアム	ＮＥＣネクサソリューションズ株式会社 ＮＥＣキャピタルソリューション株式会社
富士電機 IT ソリューション株式会社神戸支店	
扶桑電通株式会社　関西支店	

（２）提案額の確認

令和４年１月 20 日の見積書提出において、参加事業者の提案額が、いずれも提案上限額以下であることを確認した。

（３）機能要件（必須項目）の確認

参加事業者から提出された機能要件一覧表の必須項目が、いずれも対応可であることを確認した。

（４）総合点の算定による優先交渉事業者の選定

評価委員会は、提案点、実技点及び価格点を合計した総合点を算定し、総合点の最も高かった「参加申込書受付番号２」の富士電機 IT ソリューション株式会社を優先交渉事業者として選定した。

■総合評価一覧表

参加申込書受付番号	提案点		実技点		価格点（1,500 点）	総合点（3,600 点）	順位
	企画提案書評価(600 点)	機能要件任意項目評価（600 点）	プレゼン評価（300 点）	デモ評価（600 点）			
1	366	410	198	343	225	1,542	3
2	**440**	**555**	**225**	**506**	**330**	**2,056**	**1**
3	403	565	191	440	450	2,049	2

（５）評価委員会による審査の流れ

評価委員会では、まず事業者から提出された企画提案書の記載内容について、会社概要、事業実施体制、システム概要などの項目ごとに書類審査し、評価を行った。

その際、利便性の向上に資する付加機能として設定した機能要件任意項目 60 項目については、各社のシステムで既に装備されているかという視点で、あらかじめ設定した配点を加点している。

引き続いて、参加事業者によるプレゼンテーション及びデモンストレーションを、令和４年１月 28 日、31 日に実施した。

プレゼンテーションでは、企画提案書による提案内容を補完する説明を受け、特に、機能要件任意項目について、市が求める機能が満たせるかを含めて評価を行った。デモンストレーションでは、画面構成や操作方法などについて操作性・視認性を確認した。質疑応答では、企画提案書、機能要件任意項目を含めた提案について、上記の内容に加えて疑問点や本市の認識に齟齬がないか、詳細について確認を行った。

各委員は、「企画提案書」「機能要件任意項目」「プレゼンテーション」「デモンストレーション」を総合的に評価し、本市が求める充実した機能が備わっているかを、慎重かつ厳正に審査した。

■価格点評価

参加事業者による提案価格（消費税及び地方消費税を含む）及び価格点は、次のとおりである。

参加申込書受付番号	提案額（税込）	価格点
1	￥71,431,800	225
2	**￥65,980,860**	**330**
3	￥59,423,320	450

提案上限額　84,026,000 円（消費税及び地方消費税を含む）

価格点採点方法　価格点＝1,500 点×（１－提案額／提案上限額）

※提案額／提案上限額は、小数点第３位以下切捨てとする。

■企画提案書評価結果一覧表

提案書目次		配点	参加申込書受付番号１ 評価委員７名の合計点	参加申込書受付番号２ 評価委員７名の合計点	参加申込書受付番号３ 評価委員７名の合計点
１　会社概要					
	１－１　会社概要	10	42	46	46
	１－２　導入実績	20	84	112	92
２　実施体制					
	２－１　業務推進体制	10	44	50	48
	２－２　プロジェクト計画	10	42	46	45
	２－３　スケジュール	10	39	44	52
	２－４　進捗管理	10	41	48	50
	２－５　役割分担	10	48	46	44
３　システム概要					
	３－１　システム概要	20	100	104	116
	３－２　システム構成	10	42	46	44
４　本業務への理解					
	４－１　再構築による達成目標	10	54	52	44
	４－２　課題解決	30	156	180	144
	４－３　再構築の基本的な考え方	10	44	48	42
５　システム基本要件					
	５－１　機能要件	50	175	300	250
	５－２　帳票要件	10	42	50	42
	５－３　操作性・利便性	20	78	112	100
	５－４　保守性・拡張性	30	132	168	132
	５－５　セキュリティ対策	30	126	132	150
	５－６　稼働環境	20	84	84	84
	５－７　規模要件	30	126	162	162
	５－８　データ移行	50	205	260	280
	５－９　他システム連携	20	92	112	72
	５－10　ハードウェア構成	50	210	280	260
６　保守・運用					
	６－１　運用要件	20	84	96	84
	６－２　運用支援体制	20	92	88	92
	６－３　年度切替及び組織改正・人事異動に伴う設定変更	20	84	66	84
	６－４　研修計画	10	46	46	36
７　運用終了時の対応					
	７－１　移行データ抽出	20	60	104	78
８　追加提案					
	8－１　追加提案（本調調達範囲内）	20	92	82	72
	8－２　追加提案（本調調達範囲外）	20	104	116	78
	合計		2568	3080	2823
	採点（７名の平均）	600	366	440	403

■プレゼンテーション・デモンストレーション評価結果一覧表

プレゼンテーション			参加申込書受付番号１	参加申込書受付番号２	参加申込書受付番号３
項目		配点	評価委員７名の合計点	評価委員７名の合計点	評価委員７名の合計点
１ 会社概要					
	１－１　会社概要	10	42	44	44
	１－２　導入実績	10	39	58	50
２ 実施体制					
	２－１　実施体制・計画	30	132	138	138
３ システム概要					
	３－１　システム概要・構成	30	144	162	138
４ 本業務への理解					
	４－１　本業務への理解	30	138	168	129
５ システム基本要件					
	５－１　操作性・利便性	40	184	248	180
	５－２　保守性・拡張性	40	184	216	184
	５－３　セキュリティ対策	30	132	162	138
６ 保守・運用					
	６－１　運用要件	30	138	144	129
	６－２　研修計画	10	48	50	36
７ 追加提案					
	７－１　追加提案（本調調達範囲内）	30	162	144	132
	７－２　追加提案（本調調達範囲外）	10	44	46	42
	合計		1387	1580	1340
	採点（７名の平均）	300	198	225	191

デモンストレーション			参加申込書受付番号１	参加申込書受付番号２	参加申込書受付番号３
項目		配点	評価委員７名の合計点	評価委員７名の合計点	評価委員７名の合計点
１	システム機能概要　ア　画面構成	100	380	600	500
	イ　操作方法	100	350	600	460
	ウ　収受から起案までの一連の流れ	90	333	576	504
	エ　承認作業の流れ	100	400	600	500
	オ　決裁後処理の流れ	90	369	522	450
	カ　文書・簿冊の検索手順・操作方法	90	432	504	540
２	その他	30	141	144	126
	合計		2405	3546	3080
	採点（７名の平均）	600	343	506	440

３．審査結果の概要（講評）

（１）総評

再構築の目的は、事務処理の効率化・簡素化及び電子決裁の推進並びに庁内情報の円滑な共有化であるが、加えて、将来的な他システムとの連携を視野に入れ、選定を行った。

各参加事業者の企画提案書の内容については、企画提案書評価会議において評価委員が意見交換を行い、理解を深めた上で、プレゼンテーション・デモンストレーション時には質疑応答を行い、提案内容の詳細を確認した。

３者から、独自のノウハウを十分に発揮した高水準で意欲的な提案がなされたことは、大変意義があった。

（２）選評

３者の提案は、いずれも本市が必須とした要求水準を満たしており、その上で優先交渉事業者として選定した富士電機 IT ソリューション株式会社の評価は次のとおりである。

① 優先交渉事業者に対する評価

以下の「本業務への理解」及び「システム基本要件」に記述したとおり、機能要件任意項目に記載のない優れた機能が提案された点を評価した。

さらには、デモンストレーションで確認した画面構成、操作方法、収受から起案までの一連の流れ、承認作業の流れが、初見の者でも容易に理解でき、操作性・視認性において非常に優れたものであった点を高く評価した。

（機能要件任意項目対応可否）

・機能要件任意項目で対応不可なものには、「承認者・決裁者が、伺い文や添付ファイルの編集を行ったり、付箋を追加した場合に、起案者に通知ができること」「承認者・決裁者は、承認日・決裁日を当日以外の日付でも入力できること」などがあったが、決裁完了時に決裁中の変更箇所が色替え等で確認可能であること、決裁日は決裁後に変更可能であるなど代替案が示されており、当該機能の不足は十分補完できると判断した。

（本業務への理解）

・本市が課題として挙げる項目について、十分な説明がなされた。特に、添付文書の PDF 一括表示に加えて任意のページで並列表示が可能な点、文書ごとに所属で共有、特定の人で共有、決裁ルート上の人で共有など、きめ細かい閲覧権限を設定できる点を高く評価した。

　また、将来機能の拡張性として、財務会計システムとの連携についての提案、導入実績を高く評価した。

（システム基本要件）

・メモ機能による情報共有、版数管理機能の使いやすさ・視認性など、機能要件任意項目に記載のない優れた機能が提案され、高く評価した。

・処理中文書の進捗が把握しやすく、滞留の確認・管理が可能になる点も、優れた機能として評価した。

・決裁効率化の観点では、決裁者が不在の場合に代理者による代理決裁が可能であるだけでなく、決裁者による決裁予約が可能な点を評価した。

・帳票要件では、サンプルの視認性、本市の要件に併せてレイアウトを修正予定である点を評価した。

・利便性では、誤操作により画面を閉じた場合でも自動簡易バックアップ機能により直前の入力内容を復元可能である点を評価した。

・アクセシビリティに配慮し、画面配色を選択できる点などを高く評価した。

（保守・運用）

・年度切替、組織改正及び人事異動に伴う設定変更については、サポートが十分に行われるのかとの懸念が示されたが、LGWAN-ASP サービス上での対応だけでなく、来庁しての支援が可能であることを確認した。保守・運用仕様書に基づく運用支援の実施に期待する。

（追加提案）

・財務会計システムとの連携の提案と導入実績を高く評価した。

②その他の参加事業者の評価

《参加申込書受付番号１》

・文書管理システム再構築と並行して、文書事務全体の運用面に踏み込んで改善支援を行う提案がなされている点を評価した。検索機能及び統計機能が充実している点を評価した。

・現行システムからのデータ移行について「確実な移行を目指す」との記載にとどめられている点、また、システム画面の視認性の低さが、他の事業者と比較して評価が低くなる結果に繋がった。

《参加申込書受付番号３》

・現行システムにはない機能の提案、事業者のサポートによる確実なデータ移行方針などを評価した。

・充実した検索機能、版数管理による改ざん防止機能などを評価した。

・事業者の提案する機能の中で、添付文書の並列表示、添付文書の一括ダウンロードについては、本市が要求する機能との乖離が見られた。

・他システム連携については、将来的な他システムとの連携について具体的な提案がなされておらず、評価点が低い結果となった。

（３）今後の事業実施に当たって

選定した富士電機 IT ソリューション株式会社においては、新たに LGWAN-ASP による文書管理システムを導入する本市と綿密な調整を行い、提案内容を着実に実行されたい。

また、運用支援に際しても、システムの円滑な運用が行われるよう、柔軟に対応されることを期待する。

市としても、新たな文書管理システムを十分に理解・活用すると共に、将来的なシステム連携を視野に入れ、更なる事務処理の効率化・簡素化及び電子決裁の推進に努めることが求められる。